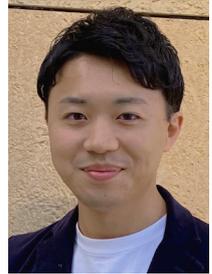


# 早稲田佐賀校友会報

## 早稲田佐賀校友会

会長 伊東 巧平



平素より校友会活動へのご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。  
本年度より会長職を拝命致しました伊東と申します。副会長に就任して4年、この場でご挨拶をさせて頂くのも5回目となりました。

例年この挨拶を書く10月末は、繁華街ではハロウィン一色ですが、根っからの「唐津っ子」な私は待ちに待った唐津くんちに向け胸が躍る時期です。在学当時は授業が全く耳に入らず、夜になると街のあちこちから聞こえるお囃子にソワソワしていました。開校12年、私よりひと回り下の生徒たちが日々勉学に励んでいるのかと思うと、時の流れの速さにゾッとしてしまいます。  
私が校友会に携わるようになった頃は卒業生も数百名でしたが、今や二千名規模となりました。卒業して7年が経った今でも年に数回は学校に足を運んでおりますが、先生方は口々に卒業生の各方面での活躍を嬉しそうに話されます。「集まり散じて」人は変わっていきますが、皆様のご活躍が在校生のモチベーションとなり、憧れとなっています。

かく言う私は社会人3年目。仕事柄マーケティングの動きを常に見ていますが、相場の格言に「もうはまだなり、まだはもうなり」というものがあります。江戸時代の書物『八木虎之巻』に由来する言葉で、欲をかくと冷静さを見失ってしまうという戒めの言葉とされていますが、私はこの言葉は「全体を俯瞰し、今何をすべきかを考える行動することが重要だ」と教えてくれているのではないかと理解しています。なかなか簡単ではありませんが、久しぶりに同級生と集い、思い出話を花を咲かせつつ初心に立ち帰ってみると、日々忙殺される中で見失ってしまっているのが見えてくるのではないのでしょうか？この会報がお手元に届く頃には年の瀬ですが、来たる23年は卯年。皆様にとつて飛躍の1年となることを心より祈念しております。  
新体制となった校友会が、今後も校友の皆様への場であり続けることを、そして益々の母校の発展に寄与していくことをお約束し、私の会長就任のご挨拶とさせていただきます。

## 早稲田佐賀校友会

副会長 坂田 憲治



22年6月に会長職を退任し、副会長に任命されました坂田です。校友会全体のことを考え、「次世代への引き継ぎ」と「新たな組織を作り」という目的で、この度会長職を退任しており、不正やコンプライアンス違反ではないことを念のため記載しておきます。(笑)

さて、副会長としての仕事ですが、主に伊東会長のサポートと、延期にしているホームカミングデーの開催に向けて活動していく予定です。ホームカミングデーに関しては1期生と2期生の合同開催を検討しており、横の繋がりがだけでなく上下の交流の場となるため、良い機会と捉えて計画を進めたいと思います。学校側とも先日相談し準備を進めておりますが、我々の頭が固く良いアイデアが出てこないのが現状のため、是非皆さんのご意見を頂きたく思います。校友会は卒業生の単独運営で人材不足のため、学生の方で時間ある方や社会人で現職と上手に両立できる方がいらつしやればご協力頂きたいです。ご協力よろしくお願ひします。

## 早稲田佐賀校友会

副会長 重松 諒



本年も校友会の活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。副会長5年目を迎えた重松です。過去の私の挨拶文を振り返ると皆さまへの感謝や協力依頼のフルコースでして、「面白くないし、もう飽きたらたのびな」と心配しております。さて、今年はテキストを変え、空の話でもしましょう。おそらく皆さまが会報を手にとる頃、1年で最も昼が短い冬至の時期かと思えます。22年唐津の冬至は日の出7時21分、日の入17時17分となります。これが東京では日の出6時47分、日の入16時32分で唐津と6分程違います。

私が大学進学で上京した際は、日の出・入の時間感覚の違いに慣れませんでした。夏の朝4時ごろから空が明るくなることには驚きました。卒業生の7割近くが関東に進学するため、私と同じような体験をした方は多いのではないかと思います。皆さまが今お住まいの地域はどうでしょうか。少し違う視点から青春に思いを馳せるきっかけになればと思います。

## 早稲田佐賀校友会

副会長 水地 巧騎



初めてご挨拶をさせて頂いたいただきます。今年度より校友会副会長を拝命しました6期生の水地巧騎と申します。早稲田佐賀高校を卒業して4年、気づけば社会人1年目となり、そしてこのような立場を任せていただき、時の流れのよさに驚きを感じております。早稲田大学在学中、毎年のように学校説明会や入学試験のお手伝いをさせて頂いたなかで、伊東新会長より「副会長をやって欲しい」とお話を頂きました。「ひとりで校友会の若返りを担わされても困るな」とも思いましたが(笑)卒業生の数も増え、少しでも多くの卒業生の声を聞くことが私の役割なのだと思います。この時の流れのよさは、6期生以下の卒業生がこの校友会を運営していく日もそう遠くないです。私はそのため準備を今から行っていくかなければならないと思っております。と言いつつも、まだまだ手探り状態なのも事実でございます。会長、副会長はもちろん、校友の皆様のお力添えをいただきながら一緒に校友会の未来を作っていければと思います。よろしくお願ひいたします。

## 高校教頭 迎 佳和

20年の新型コロナ感染症の大流行から間もなく3年が経とうとしていますが、今では本校も新しい生活様式を踏まえた学校生活が日常になりました。さて、校友会の皆さんに新たなニュースを！と思ひ、今年「高輪築堤」の一部が本校に移設されたことを是非お知らせしようと思つたところ。なんと校長先生が一足先にその話題を原稿に書いていたそうで「出遅れました(泣)」。

西洋音楽界の有名な音楽家の中に、フランスの作曲家「ビゼー」がいます。この人は何と大隈重信侯と同年、1838年生まれ、フランスの作曲家です。代表的な作品は「カルメン」や「アルルの女」がありますが、音楽家の家庭に生まれ、幼少期からピアノの才能に恵まれていたビゼーは、9歳でパリ音楽院に入学するほどの腕前だったそうです。しかし、将来はピアニストではなくオペラ作家になることを夢見ていたとのこと。結果、舞台作品は生涯で30作品を残したと。そんなビゼーの「カルメン」！世界的にも人気の高いオペラです。物語は結構悲劇なのですが、音楽は親しみやすいメロディーばかりです。「芸術の秋」を楽しみながら、皆さん元気で過ごし下さい。

## 中学教頭 覺前 宏道

早稲田佐賀校友会のみならず、それぞれの場所でご活躍のことと思ひます。



私は首都圏にある私立中高一貫校を卒業しました。このような卒業生の会はなめ、またSNSなどで登録する人も限られているため、同級生や恩師がどのような状況でお元氣にいらつしやるのか、本当に仲が良かったまに会う限られた仲間以外には知る術がありません。早稲田佐賀校友会は卒業生同士、卒業生と教職員を結ぶ貴重な組織だと思ひます。会の益々の発展と会員同士の深い結びつきを願うばかりです。

来年、いよいよ大台に乗る年齢の私ですが、卒業して初めて有志による「同窓会」なるもの連絡が飛び込んできました。懐かし気持ちと甘酸っぱい気持ちで蘇ってきました。みなさんも私くらい年齢になることにはこの気持ちかわかるようになるでしょう。

校友会の皆様、はじめまして。私は本年6月に早稲田大学より参りました。中高の現場に携わるのは学生時代の教育実習以来で、日々早稲田佐賀のカルチャーへの理解を深めているところで。私は大学卒業後、5年ほど海外で生活した経験があります。今は気軽に海外に行ける状況ではありません。本校では皆様も経験されたように、様々な地域から集まった生徒達が共に生活し切磋琢磨することにより、海外に行かずとも自然に多様性を認め合う姿勢を身につけることができているのではないのでしょうか。これは本校の大きな特色の一つだと思います。このような環境で働けることに喜びを感じています。どうぞこれからもよろしくお願ひ申し上げます。

## 副校長 藤澤 健

校友会の皆様、はじめまして。私は本年6月に早稲田大学より参りました。中高の現場に携わるのは学生時代の教育実習以来で、日々早稲田佐賀のカルチャーへの理解を深めているところで。私は大学卒業後、5年ほど海外で生活した経験があります。今は気軽に海外に行ける状況ではありません。本校では皆様も経験されたように、様々な地域から集まった生徒達が共に生活し切磋琢磨することにより、海外に行かずとも自然に多様性を認め合う姿勢を身につけることができているのではないのでしょうか。これは本校の大きな特色の一つだと思います。このような環境で働けることに喜びを感じています。どうぞこれからもよろしくお願ひ申し上げます。

## 寮館長 菅原 一夫



寮館長をさせて頂いた4月から寮館長と申します。早稲田佐賀にお世話になって5年目になりました。寮が大好きで、5年間ずっと寮に関わらせていただいています。私は高校時代のユニフォーム(野球部)が早稲田カラーだった影響から、早慶戦にあこがれ、早稲田大学を受験するも惨敗(コールドゲーム)。今でも早稲田大学には強い憧れを持っていきます。今でも早稲田大学に就職していますが、第二の人生を皆さんと同じように早稲田大学の学生として謳歌したいと、かなな望みを抱いています。会員の皆さん、私に力を貸してください。受験勉強の方法を教えに、是非母校に顔を見せてください。そして寮食堂で八太郎館カレーを一緒に食べましょう！皆さんの来校をお待ちしています。

# 収支決算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

| 項目              | 予算        | 決算        | 差異     |
|-----------------|-----------|-----------|--------|
| 卒業生会費 (20,000円) | 4,580,000 | 4,580,000 | 0      |
| 年会費 (2,000円)    | 20,000    | 14,000    | -6,000 |
| 卒業記念品代          | 458,000   | 458,000   | 0      |
| 広告収入            | 0         | 0         | 0      |
| 雑収入             | 0         | 0         | 0      |
| 受取利息            | 370       | 425       | 55     |
| 周年記念収入 (大同窓会会費) | 0         | 0         | 0      |
| 周年記念収入 (寄付金)    | 0         | 0         | 0      |
| 収入合計            | 5,058,370 | 5,052,425 | -5,945 |

| 項目             | 予算        | 決算         | 差異         |
|----------------|-----------|------------|------------|
| 消耗品費           | 10,000    | 0          | -10,000    |
| 用品費            | 0         | 0          | 0          |
| 水道光熱費          | 0         | 0          | 0          |
| 旅費交通費          | 500,000   | 32,918     | -467,082   |
| 通信運搬費          | 30,000    | 20,744     | -9,256     |
| 印刷製本費          | 30,000    | 6,600      | -23,400    |
| 使用料・賃借料        | 20,000    | 0          | -20,000    |
| 会議費            | 30,000    | 0          | -30,000    |
| 報酬・委託・手数料      | 10,000    | 13,366     | 3,366      |
| 業務管理費          | 50,000    | 50,000     | 0          |
| 奨学費            | 400,000   | 0          | -400,000   |
| 教育活動支援費        | 100,000   | 0          | -100,000   |
| 広告費            | 25,000    | 22,000     | -3,000     |
| 卒業記念品代         | 458,000   | 425,000    | -33,000    |
| 雑費             | 50,000    | 0          | -50,000    |
| 予備費            | 100,000   | 0          | -100,000   |
| 奨学金積立          | 800,000   | 800,039    | 39         |
| 教育活動支援費積立      | 200,000   | 200,138    | 138        |
| 周年事業費積立        | 200,000   | 200,138    | 138        |
| 周年記念費 (大同窓会会費) | 0         | 0          | 0          |
| 周年記念費 (寄付金)    | 0         | 0          | 0          |
| 支出合計           | 3,013,000 | 1,770,943  | -1,242,057 |
| 当年度収支超過額       | 2,045,370 | 3,281,482  | 1,236,112  |
| 前年度繰越収入超過額     |           | 19,600,585 |            |
| 翌年度繰越収入超過額     |           | 22,882,067 |            |

## 事業報告と計画

### 2022年度 事業報告・予定報告

- ・ 代議委員会実施
- ・ 部活動実績横断幕作成
- ・ 高校野球部の夏大会への応援広告協賛
- ・ 校友会入会式実施
- ・ 学校説明会及び入試協力
- ・ 会報の発行
- ・ 進路調査
- ・ 進路支援 (オンラインイベント)
- ・ 卒業式参加

### 2023年度 事業計画

- ・ 代議委員会の開催
- ・ 学校説明会及び入試協力
- ・ 会報の発行
- ・ 卒業式参加
- ・ ホームカミングデーの開催

## お知らせ

### 校友会ホームページを開設

校友会ホームページを開設しています。現在、過年度の会報誌や校友会組織についてご覧いただけます。

また年会費のオンライン決済のページにもアクセス可能となっております。

校友会に関するお知らせなども今後は随時更新していきますので、ご覧いただけますと幸いです。

校友会ホームページ

(<https://www.wasedasagaalumni.jp/>)

## 在校生と卒業生を繋ぐLYCLAS

在校生と卒業生が進路や大学生活などの情報を交換できるコミュニティサイト「LYCLAS (リクラス)」を開設しました。チャットツール「Slack (スラック)」上で在校生の質問を校友が回答し、その内容を参加者全員で共有することができます。

2021年6月から高校2年生から試験導入し、段階的に対象学年を広げる予定です。

### メッセージ・要望・広告を募集中

卒業生からの近況報告や学年同窓会の開催の活動報告などメッセージをお寄せください。また取り上げて欲しい企画などアイデアがあればお寄せください。

## お願い

### 年会費の納入のお願い

現在、校友会は卒業生の皆様から頂いた年会費を元に活動しています。母校の発展や卒業生同士の親睦を図るため、高校卒業5年目以降(1〜6期生)の皆様は年会費、1口2000円の協力をお願いします。

スマートフォン上で簡単に決済できるオンライン決済をご活用ください。

(<https://www.wasedasagaalumni.jp/fee.html>)

### 連絡先が変わったら情報更新を

連絡先や就職先など変更した場合、左記QRコードまたは専用の入力フォーム(<https://forms.gle/m4Tf9v4LubbaJx8>)より記入をお願いします。また校友会名簿の登録が済んでいない方もお願いします。

連絡先変更  
フォームはこちら



次回発行は2023年12月頃の予定です。

## 役員紹介

会長 伊東 巧平  
副会長 (会長補佐) 坂田 憲治  
副会長 (九州支部長) 重松 諒  
副会長 (関東支部長) 水地 巧騎

会計 島林 秀伎  
会計 小林 大智  
監事 小泉 萌子  
監事 草場 峻吾

一期 石黒 元規  
小泉 萌子  
坂田 憲治  
笹津 敏暉

二期 島林 秀伎  
西田 理史  
小林 大智

三期 重松 諒  
森山 青空  
秋元 理帆

四期 田中 謙伍  
田中 知里  
森田 漠

五期 伊東 巧平  
草場 峻吾  
田中 悠之介

六期 今西 健太  
水地 巧騎  
高田 幸毅

七期 高田 幸毅  
重信 早希  
高津 起也

八期 岩崎 尋礼  
大西 正泰  
笹津 敏暉  
特別会員 島本 幸三

発行 早稲田佐賀校友会